

## 皮膚腫瘍切除(くり抜き)同意書

注射の局所麻酔をした後、腫瘍の周囲に沿ってくり抜きます。

皮膚表面の縫合はせず(場合によっては、中縫いをしてキズを縮めることができます)、そのまま上皮化するのを待ちます。

上皮化までは2~4週間ほどかかります。その間、軟膏を塗り、テープあるいはガーゼ、カットバン等で保護してもらいます。

上皮化した後は特に処置は必要ありませんが、紫外線に当たると傷跡が目立ちやすくなりますので、なるべく日焼け止めを用いて紫外線に当たらないようにして下さい。

日焼けにかかわらず傷跡はしばらく目立つ場合があります。落ち着くまで半年~1年かかることもあります。ただし、最終的に傷跡が消えることはありません。

病理組織検査の結果が悪性であった場合は、再手術あるいは他院への紹介となる場合があります。

### 合併症

出血…止血が必要になることがあります。

感染…上皮化まで時間がかかったり、傷跡が目立ってしまうことがあります。抗生素の内服を追加することがあります。

傷跡の凹み…盛り上がりが不十分で、凹みが残ることがあります。目立つ場合は再手術が必要になります。

ケロイド・肥厚性瘢痕…傷跡が盛り上がって残ることです。ステロイドという薬剤を注射することにより盛り上がりを減らすことはできますが、回数が必要です。再手術を行うこともあります。

色素沈着…最終的に傷跡の色が濃く残ってしまうことがあります。

再発…再手術が必要です。

当院における診療情報(年齢、性別、病歴、治療経過、写真など)を、学会・論文等の研究、ホームページなどの広告、他の患者様に参考として見せることなどに使用することを( 同意します · 同意しません )もちろん、個人情報の保護には厳重に配慮いたします。

上記について説明を受け、理解したうえで治療することに同意します。

年       月       日

本人      住所

                氏名

保証人    氏名